



松田分署に配備されている消防ポンプ自動車

# 町の防災・救急対応について



質問者  
石内 浩 議員

先日、町内で火災が発生しましたが、幸いにも消火活動が早く延焼を免れました。「安心・安全」をうたっている町として、災害時に被害が少なくなる町づくりについて、お聞きします。

それらの解消策は。  
(2) 防災、救急への具体的な取り組みが「定住化」や「多世帯住宅」を増やすための町づくりに欠かせないはずですが、どのような取り組みを考えていますか。

## 安心・安全の町づくりを

A



回答 (町長)

(1) 小田原市消防本部足柄消防署松田分署によると、消防ポンプ自動車が進入できない道路は、町道・認定外道路を含め19

路線あるが、町道は町が順次拡幅工事を進めている。狭あい場所での消火活動は、延長ホースでの消火が可能であり、このためのホースカーを含め、消防本部からは、10台の消防自動車が出動し、初動体制の強化と延焼防止を図っている。

防火地域に指定され、建物の外壁などは防火構造が義務付けられている。本年度の主な取り組みは、防火拠点・避難所の太陽光発電設備や耐震補強工事・木造住宅耐震化や危険ブロック塀撤去補助・備蓄品の整備など「町地域防災計画の策定」を含め、安心安全な町づくりに向け対応していく。

## 協働のまちづくりに向けて町民の自治意識向上を



質問者  
平野 由里子 議員

住民自治基本条例の制定に向けて検討が重ねられていますが、作って終わりにならないように今から工夫が必要です。大事なものは自治基本条例を作った際に、どうやって運用していくか。そのための仕組みづくりが必要ですが、そこに参加する

だけでなく、参画して共に作っていく人材が必要だと考えます。  
(1) 町民のエンパワーメントに町民大学の果たす役割は大きいと認識していますが、新年度では社会参加の関心を広げるためどんな講座を行いますか。

(2) まちづくりには女性の力が欠かせません。男女共同参画推進の現状は？  
(3) 子ども・若者の社会参加支援に取り組むべきです。社会的関心を育てるための座学・ワークショップ等についてのお考えはありますか。

## 住民の自治や男女共同参画意識の向上に努める

A



回答 (教育長・町長)

(1) 町民大学受講者の社会参加への興味を深め、また受講年代層を広げるためにもテーマを幅広く選定する。  
(2) 女性の職業キャリア形成や社会参画を推進するため、平成29年度は「女性活躍総合戦略」及び「男女共同参画プラン」の策定を予算化した。ま

た町民大学や職員研修のテーマにも取り上げた。男女共同参画の現状を把握して、広報紙等においてその必要性や学習情報を発信し、男女共同参画意識を広げる啓発活動に努める。  
(3) 自治基本条例でも「子どもの参加」を明記する方向で進めている。また町長と住民の地域座談会もこれまでのものに加えて、若い世代を対象のものも計画する。また若者や児童生徒の声を聞くために、こちらから出向く形も考える。



町民大学